

各学校などで 学芸会が開催

10月下旬から11月中旬にかけて、町内の小中学校や保育所などで学芸会・お遊戯会が行われました。「一致団結!仲間と協力して最高に感動できる学芸会にしよう!」をテーマに行われた清里小学校の学芸会では、ご家族から温かい声援が送られる中、子どもたちは練習の成果を表現して、会場に感動を届けてくれました。



福祉のまちづくり 映画上映会が開催

10月23日、福祉のまちづくり映画上映会が開催され、認知症や老老介護と向き合う夫婦の姿を描いた映画「ぼけますから、よろしくお願ひします。～おかえりお母さん～」が上映されました。申込み多数により2回の追加上映が行われるなど、合計131名の方が来場し、認知症への関心の高さがうかがえる上映会となりました。



©2022「ぼけますから、よろしくお願ひします。～おかえりお母さん～」制作委員会

それぞれのゴールを目指して 町民水泳大会が開催

10月23日、新型コロナの影響で延期となっていた第36回町民水泳大会が開催され、幼児から一般の部まで、29名の選手たちが出場しました。大会当日は、自由形や背泳ぎ、100mリレーなど、男女別に7種目の競技が行われ、参加した選手たちは水しぶきを上げながら、一生懸命ゴールを目指していました。



北海道日立システムズの社員6名が 今年度2度目となるワーケーション

今回のワーケーションでは平日はオンライン会議、休日は景勝地などを周遊していただきました。参加した方からは「温泉施設や広大な自然など、リフレッシュできる環境が整っている。ぜひ観光資源を活かしたワーケーション事業を企画いただきたい」と、清里町におけるワーケーションの可能性を話してくれました。



まちの話題

交通安全を願って 交通安全街頭啓発活動を展開

トラックなどの交通量が増える輸送繁忙期に合わせ、交通安全街頭啓発が行われました。清里ロータリークラブにより、市街地中心部で横断幕を掲げて啓発を行ったほか、清里高校の生徒たちからは、手作りのお守りや手書きのメッセージカードを添えた交通安全の品をドライバーに手渡し、安全運転を呼びかけました。



気軽に集まって交流を まんまるカフェが開催

10月12日、札弦センターにてまんまるカフェが開催されました。このカフェは、地域の方々が気軽に集まり交流できる場として、社会福祉協議会が主催しています。当日は、保健師による健康相談や血圧測定なども行われる中、8名の方が参加し、お茶やコーヒーを飲みながら近況を報告し合うなど、会話に花を咲かせていました。



清里高校生による じゃがいもスイーツ販売会

10月21日と22日の2日間、和洋菓子のモンブランとパパスランドさつるにて、清里高校生が開発したスイーツの販売会が行われました。生徒たちは授業の一環として、町内産のじゃがいもを使ったスイーツ開発に取り組み、レシピやパッケージデザインに至るまで、約半年の開発期間をかけてオリジナルスイーツを開発しました。

販売会当日は「焼きじゃがモンブラン」や「じゃがいもタルト」など、計4種類のスイーツを販売し、両日ともすべての商品が完売となりました。店頭でお客さんに商品を手渡した生徒は「開発に長い時間がかかりましたが、お客さんの喜ぶ顔が見られて良かった」と、喜びの声を聞かせてくれました。

